

総領事公邸によろこそいらっしゃいました。本日、進出日系企業の活動支援を通じ我が国とメキシコの間相互理解と友好親善に尽くされた藤山仁子様に対し、日本政府を代表いたしまして、在外公館長表彰を行うことができますことを誠に嬉しく、また光栄に感じております。

本年は、日本メキシコ経済連携協定が発効して 20 周年となります。この協定が発効した 20 年前、メキシコ国内には約 300 の日系企業の拠点がありましたが、それが今では約 1500 にまで増えています。総領事館が管轄するバヒオ地域の 6 州、すなわちグアナファト州、アグアスカリエンテス州、ハリスコ州、ケレタロ州、サン・ルイス・ポトシ州及びサカテカス州においても 900 近い日系企業のオフィスや工場が日々操業しています。

バヒオ地域に進出する日系企業が急速に増えていく中で、藤山様は 2015 年 5 月にメキシコ日本商工会議所バヒオ支局長として入所されました。それ以来、10 年間、藤山様は、ご自身のメキシコでの経験を活かしつつ、新たにバヒオ地域に進出する日系企業に対し、企業設立や生活の立ち上げなどに関連する情報を提供され、日系企業の利益のために各州政府との関係を構築し時には交渉にあたってこられました。また、藤山様は、日本商工会議所がグアナファト州政府はじめ地元政府、そして日系社会と協力しながら、日系企業の人材確保のためのジョブフェアを開いたり、日本文化紹介事業に参加するのを、バヒオ支局長として支えて来られました。さらに、2019 年のグアナファト日本人学校の創立とその後の運営にも貢献されました。

このように、藤山様は、日系企業支援を通じて、日本とバヒオ地域、さらには日本とメキシコの間相互理解の発展や相互理解の促進に貢献されてきました。日系企業の皆様が地元メキシコの人々と共に事業に励むこと、メキシコに在住する日本人の皆様一人一人が地元メキシコの人々と様々な分野で交流されることは、日本とメキシコの間相互理解の礎となります。藤山様は、日メキシコ友好関係の基盤づくりに貢献されてきたのだと思います。このことに、日本政府を代表して、心より敬意と感謝の気持ちを表明したいと思います。

最後に、私たち総領事館も来年 1 月に開設 10 周年を迎えます。今後とも、藤山様はじめメキシコ日本商工会議所の皆様、そしてご列席の皆様のご支援とご協力を得つつ、日本とバヒオ地域、そして日本とメキシコの友好関係のさらなる発展のために努力してまいりたいと思います。改めて、日本とメキシコの友好親善に尽くされた藤山様のご功績に深い敬意と感謝の気持ちを表明いたします。ありがとうございました。